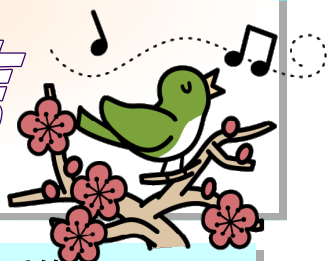


ケロちゃん通信

2019年3月 第45号



ながおか医療生協 あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1
電話番号 0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

診療案内

一般診療の受付開始は午前8時30分、午後15時30分からです。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システム
でご予約ください。
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。
緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約
ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話で
ご予約もできます。

☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による
診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、
落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配され
ている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配が
ある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)**
アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそ
く、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いい
たします。(ネット予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診療を行っています。病児保育室
「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもでき
ます。

☆寒さも峠を越し、すこしづつ春の訪れを感じられる季節
になってきました。暖冬のおかげで桜の開花も早まりそうです
ね。そろそろ春の花の準備も必要な季節になってきました。

☆インフルエンザAの流行もピークを越えた感じですが、今年は型
が違うA型に2回罹患される方も少なくありません。これからB
型も流行る季節なので、注意が必要です。インフルエンザワク
チンは、かからなくするためのワクチンではなく軽症化するた
めのものです。ワクチンをされても罹患される方も多ですが、症
状は明らかに軽症ですんでいる印象です。

☆インフルエンザ疑いなどで迅速検査をする場合、結果がでるま
で、待合室から離れた場所でお待ちいただいております。
移動の時の動線も、なるべく待合室を通らないようにしてござ
いますので、ご協力よろしくお願いします。狭い院内で完全な感染予
防は難しいですが、可能な限り、感染者と非感染者との接触、
少なくともせきや鼻水の飛沫感染を予防できるような体制はと
っていきたいと思っております。

☆受付のお知らせにも掲示しておりますが、問診票は再診であま
り症状変化のない場合、許可書希望の場合、定期処方の場合
などは書いていただく必要はございません。新たな症状で初診
の場合のみ、お手数ですがご記入よろしくお願いします。



3月の診療予定

本間医師 (1日午前・午後 15日午前)

感染や発熱後などの予防接種の受け方

症状回復後、下記の期間をあけてから接種できるようになります。間隔をあけないと免疫がつきにくくなると言われています。37.5℃未満で、咳、鼻水、軟便程度であれば、元気な場合は接種可能です。かぜ薬などを内服していても、全身状態が良好であれば接種可能です。いずれも、接種する有用性が、不利益を上回ると判断される場合には接種できません。

| 感染 | 予防接種可能に至るまでの期間 (症状回復後) |
|-------------------|---------------------------|
| 麻疹 | 4週間以上 |
| 風疹 | 2～4週間以上 |
| 水痘 | 2～4週間以上 |
| おたふく | 2～4週間以上 |
| 溶連菌感染症 | 抗菌薬終了後2週間以上 |
| インフルエンザ | 2～4週間以上 |
| 突発性発疹 | 2週間以上 |
| RS・hMPV | 1～2週間以上 |
| ヘルパンギーナ | 1～2週間以上 |
| 手足口病 | 1～2週間以上 |
| りんご病 | 1～2週間以上 |
| ロタ・ノロ・アデノ・胃腸炎 | 1～2週間以上 |
| マイコプラズマ 百日咳 | 1～2週間以上 |
| その他のウイルス 細菌感染症 | 1～2週間以上 |

| | |
|---------------------|--|
| 発熱3日以上または発疹が出た場合 | 2週間以上 |
| てんかん発作 | 原則発作から2ヶ月以上 |
| 熱性けいれん | 痙攣後2～4週間以上 |
| 未熟児 | 歴年齢のまま |
| 同胞のかぜ、感染 | 原則として延期する必要はないが潜伏期間を考慮し適宜判断 |
| ステロイド長期使用、ACTH療法後 | 6ヶ月以上 |
| 輸血 ガンマグロブリン製剤投与後 | MR、水痘おたふく(生ワクチン)は3ヶ月以上あける。 ただしガンマグロブリン大量治療していたら6ヶ月以上あける。 BCG・ロタ・不活化ワクチンは効果に影響ないため制限なし。 |

